

わたしたちのまちの予算

令和2年度当初予算は、『町民の世代をつなぎ 笑顔あふれる予算』

令和2年度は、第二次越前町総合振興計画の中間年となります。これまでの成果と課題を踏まえ、計画の目標達成に向け、着実に取組を推進していきます。

また、本町発展の礎となる新庁舎の完成を迎えるなど、合併の総仕上げとなる重要な年でもあります。

このため、令和2年度当初予算を、

**町民の世代をつなぎ
笑顔あふれる予算**

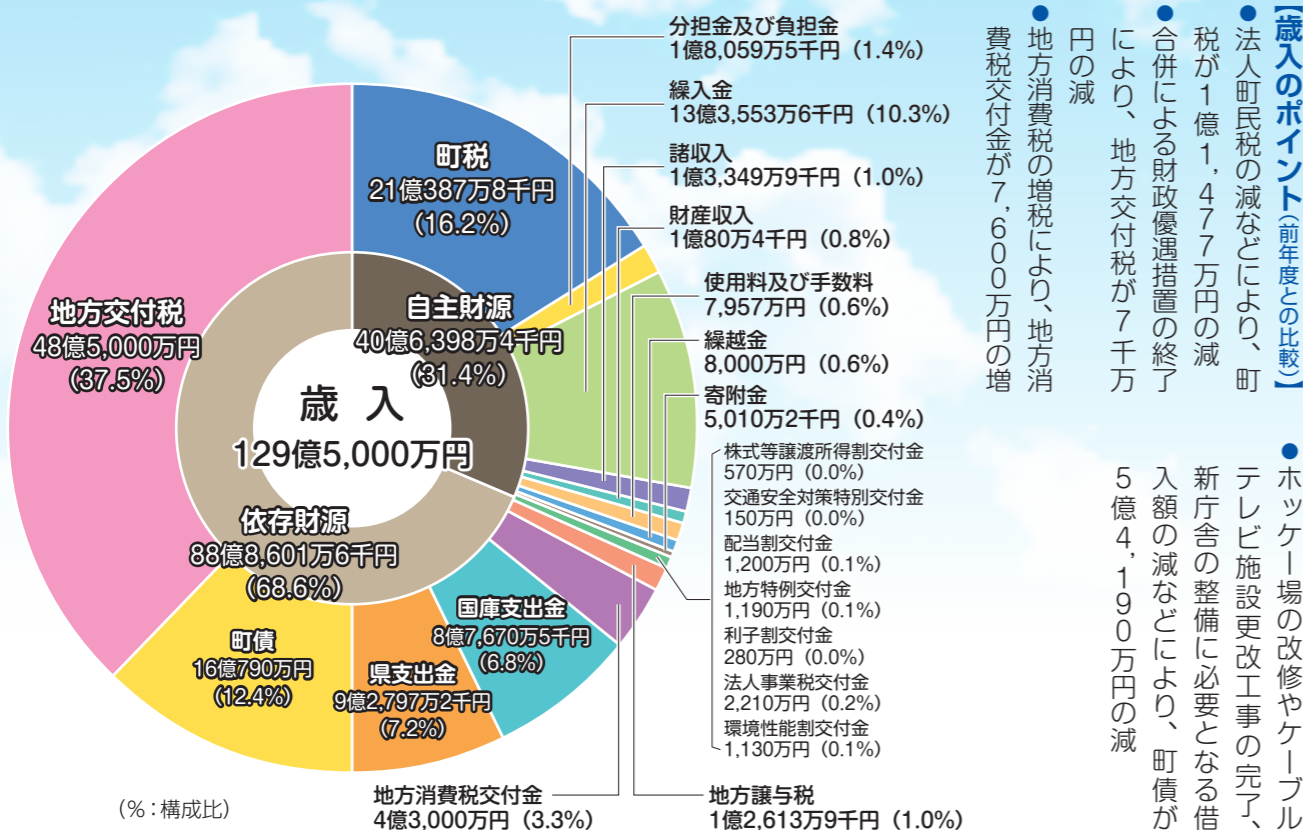
として編成しています。町民が「ふるさと越前町」に誇りと愛着を持ち、誰もが住み続けたいと思える魅力溢れるまちの実現を目指すとともに、将来にわたり持続可能な財政運営を確立し、各種施策を力強く、かつ堅実に推進を進める予算としています。

予算規模

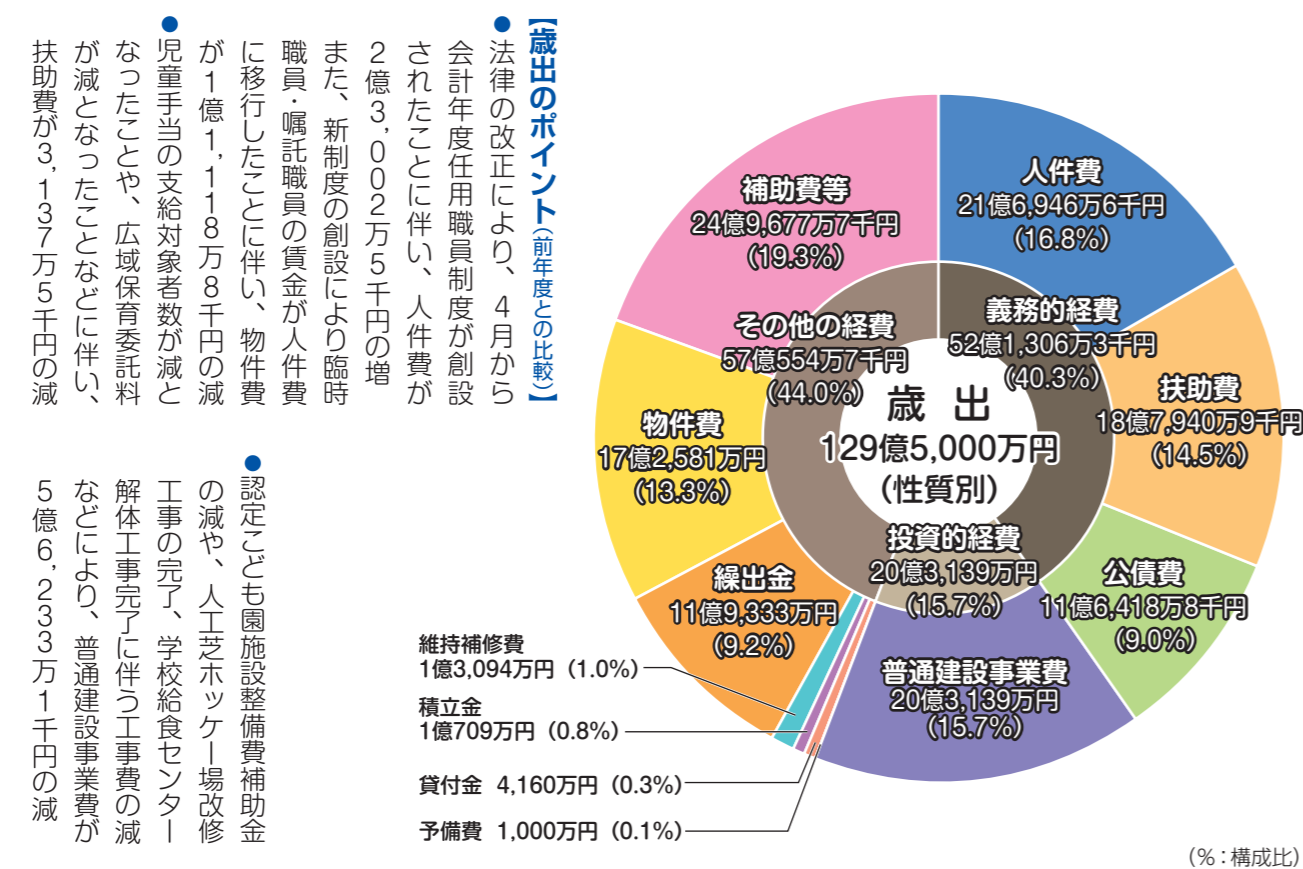
令和2年度当初予算額は、一般会計、特別会計、事業会計を合わせ

- 2022年7,117万2千円で、前年度より5億836万9千円の減（2.4%減）となりました。
 - 一般会計では、129億5,000万円、前年度より3億8,000万円の減（2.9%減）となりました。
 - その中でも今年度は5つの重点施策に基づき、事業を進めていきます。
- ① 行政拠点施設である新庁舎の整備
 - ② 豊かな観光資源とおもてなしの心で地域を潤す観光立町の表現
 - ③ 地域産業の振興と担い手の確保・育成と雇用の創出
 - ④ 次代を担う人材を育む包括的な支援の充実
 - ⑤ 安全安心で快適な住環境の整備による移住定住の促進
- 主な事業は、4ページにまとめてあります。役場新庁舎の整備、農業・産業の活性化、教育環境の充実など、越前町の歴史と伝統を活かしながら、未来を築く事業を実施していきます。

一般会計・歳入予算の内訳



一般会計・歳出予算の内訳



会計名	令和2年度予算額 ①	令和元年度予算額 ②	増減額 ①-②=③	増減率(%) ③/②×100	
一般会計	129億5,000万円	133億3,000万円	▲3億8,000万円	▲2.9	
特別会計	国民健康保険事業	23億4,176万9千円	23億2,602万円	1,574万9千円	0.7
	介護保険事業	23億7,345万7千円	23億4,253万1千円	3,092万6千円	1.3
	後期高齢者医療事業	2億6,164万2千円	2億6,463万3千円	▲299万1千円	▲1.1
	簡易水道事業	5億1,413万円	4億2,081万9千円	9,331万1千円	22.2
	公共下水道事業	5億5,906万円	8億5,820万3千円	▲2億9,914万3千円	▲34.9
	集落排水事業	2億8,830万9千円	2億7,821万9千円	1,009万円	3.6
	温泉事業	9,641万5千円	2,231万円	7,410万5千円	332.2
	農林漁業体験実習館事業	2,892万7千円	2,949万円	▲56万3千円	▲1.9
	土地区画整理事業	2,761万4千円	5,070万円	▲2,308万6千円	▲45.5
	小計	64億9,132万3千円	65億9,292万5千円	▲1億160万2千円	▲1.5
事業会計	上水道事業	4億1,365万9千円	4億2,276万3千円	▲910万4千円	▲2.2
	国民健康保険病院事業	4億1,619万円	4億3,385万3千円	▲1,766万3千円	▲4.1
	小計	8億2,984万9千円	8億5,661万6千円	▲2,676万7千円	▲3.1
合計	202億7,117万2千円	207億7,954万1千円	▲5億836万9千円	▲2.4	

主な事業

快適で安全に住み続けられるまちづくり

●防災行政無線の更新

災害時の緊急情報の周知を強化・徹底するため、老朽化が進んだ越前地区の防災行政無線設備を更新します。
〔3億5,921万6千円〕

●通学支援と公共交通の利用促進

高校への通学にバスなどの公共交通を利用する学生に対し、保護者の経済的負担の軽減や定住の促進を目的として、定期券の購入費用の一部を補助します。
〔4,130万円〕

●高齢者の安全運転をサポート

高齢者が車のペダルを踏み間違える事故が全国的に多発していることから、『ペダル踏み間違い安全装置』の設置費用の一部を補助し、高齢者の交通事故防止を図ります。
〔1,000万円〕

●ため池の安全管理

防災重点ため池のハザードマップを整備することにより、災害発生時の迅速な避難と、被害の低減を図ります。
〔1,490万円〕



誰もが健康で暮らしやすいやささを 実感できるまちづくり

●介護予防と健康的な生活

訪問・通所・生活支援などのサービスをおして、要介護状態になることを予防します。また、つるかめ教室（介護予防教室）などをおして、地域の中で自立した在宅生活を送ることができるよう支援します。
〔7,992万6千円〕

●地域医療の推進

織田病院において、経年劣化している医療機器の更新と調理室の空調設備の入替えを行います。
〔3,876万円〕

人が輝き豊かな心が 満ちあふれるまちづくり

●人々の交流とスポーツ振興

東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、町ではホッケーカナダ代表チームのキャンプ誘致、オリンピック・パラリンピック聖火イベントを実施し、人々の交流とスポーツの振興を図ります。
〔836万2千円〕

●学校教育環境の充実

町内の小・中学校の中でも特に老朽化が進み、危険を伴うおそれのある学校施設（体育館屋根・運動場・屋外遊具など）の改修や撤去を行い、児童・生徒が

安心して学校生活を送ることができるよう環境を整備します。
〔4,683万9千円〕

人と仕事の活力みなぎる まちづくり

●若者の地元就職の促進

町の基幹産業である第1次産業の担い手不足や町内企業への就職者の減少を打破するため、企業見学バスツアーの実施や県外就業者フェアへの参加をおし、若者の地元就職と移住・定住を促進します。
〔262万5千円〕

●農業の振興

中山間地域で直面している農業者の高齢化・耕作放棄地の発生などの問題に対処するため、『越前町地域農業サポートセンター』を開設し、地域の農業生産維持と活性化に努めます。
〔360万5千円〕

●越前焼の継承および振興

「職人塾（実技研修）」を開設し、越前焼の技術継承や作陶を志す塾生を支援します。また、北陸新幹線の県内開業に向け、越前焼の利用・販路の拡大に取り組み、越前焼産地の振興を図ります。
〔1,527万円〕

ふるさとの個性を活かし 交流を育むまちづくり

●地域の歴史と魅力の発信

平成22年度から発掘調査を行ってきた『番城谷山古墳群（天王区）』から出土した埴輪などの企画展覧会を行い、町の新たな歴史の魅力を発信します。
〔306万5千円〕

持続可能な健全行財政の まちづくり

●行政拠点施設の整備

平成30年度から建設工事を行ってきた新庁舎は、本年度で完成となります。新庁舎でのスムーズな業務開始に努めるとともに、町民のみなさんの利用しやすい越前町役場を目指します。
〔6億9,193万5千円〕

問合せ先

企画財政課 ☎3418702



天王川美化運動を実施しました

3月15日、朝日地区の河川周辺で、第46回天王川美化運動が行われました。メイン会場となる天王川流域では、近隣集落のみなさんがゴミ拾いや草刈りに汗を流しました。

この活動を始めた頃から比べると、捨てられているゴミの量は減っているものの、空き缶や空きびんなど、大量のゴミが集まりました。

美しい景観、住みよい環境を作るために、ゴミの投棄は絶対にやめましょう。



第14回福井県ジュニア育成強化剣道大会

2月2日、県立武道館で第14回福井県ジュニア育成強化剣道大会が開かれ、6年生男子の部で矢田部眺さん（織田小6年）、5年生女子の部で赤星心晴さん（朝日小5年）が優勝に輝き、4年生男子の部で山本優心さん（城崎小4年）が準優勝しました。

また、5年生女子の部で内藤明日さん（朝日小5年）、4年生男子の部で山口海司さん（四ヶ浦小4年）がベスト8に入賞しました。

その結果、5年生以下の4人が令和2年度の県少年剣道強化指定選手となりました。

今年1年間、毎月1回県立武道館で強化錬成会に参加します。町民のみなさんのあたたかいご声援をお願いします。
※学年は大会当時のものです。



▲左から内藤 明日さん、赤星 心晴さん、矢田部 眺さん、山本 優心さん、山口 海司さん、

第13回越前大自慢写真コンテストの入賞者が決まりました

第13回越前大自慢写真コンテストの入賞者が、応募者数76人、応募総数227点の中から25点が選定され、鯖江市の金谷広行さんの「舞い上がれ！陶芸の空へ」がグランプリに選ばれました。今回の入賞者は次のみなさんです。

グランプリ

金谷 広行（鯖江市）

優秀賞

- 四季の絶景部門 近藤 正利（越前市）
- 越前大自慢部門 田辺 英一（東京都）

準優秀賞

- 四季の絶景部門 大谷 繁一（坂井市）
- 越前大自慢部門 三田村久美子（鯖江市）

特別賞・団体賞

- 越前町長賞 藤村 留美（敦賀市）
- 越前町観光連盟賞 高橋 豊子（鯖江市）
- 福井県カメラ商組合賞 安木 武夫（福井市）
- 福井新聞社賞 栗原 達夫（滋賀県）

入選

- 辻 幸子（鯖江市）
- 高田津木男（鯖江市）
- 高橋 正治（越前町）
- 相模健太郎（福井市）

※受賞作品はえちぜん観光ナビでご覧いただけます。



▲グランプリ作品「舞い上がれ！陶芸の空へ」